十符人 ーとふとー

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

社会に活かすスポーツの力。歩く旅・トレイルで街づくり。

石井宏之さんは、昨年9月に一般社団法人タンコーカナリを設立。10歳から高校時代は野球、大学時代はボクシングに熱中。米国留学後、中学校・高校の英語教員を経て、楽天の通訳になり、2020年に同社を退社して『みちのく潮風トレイル』へ。「青森の八戸から福島の相馬まで1000キロの道を、バックパックひとつで1ヵ月半かけて歩いた経験は、自然、そして自分や社会について考え直す大きなきっかけになりました」と話します。

以前からスポーツをもっと社会に活用できる事業を立ち上げたいと考えていた石井さん。現在は、利府町に100キロの「歩いて旅を楽しむための道」・「トレイル」を作ろうと活動中。みちのくトレイルクラブのアドバイザー・丹生(にゅう)さんや、宮城大学の学生たちと町内の魅力的な道(ルート)を調査。その内容をホームページやインスタグラムで発信、また小冊子「グロウスリング」にまとめ発行しています。「利府町には絶景スポットはもちろん、縄文時代や国府多賀城につながる奈良・平安時代の遺跡も多く、歩いて楽しめるまちです。トレイル事業は、長い時間をかけて町の人たちと一緒に育んでいくものですが、これまでの活動で少しずつ人の輪も広がっています」と石井さん。

現在、子どもたちが楽しめるスポーツ教室のオープンに向けて準備中。トレイルも教室も、面白そうだと思った方はぜひ問い合わせてみてください。

一般社団法人　タンコーカナリ　代表

石井　宏之さん

1984年生まれ・岩沼市出身

ホームページ
一般社団法人タンコーカナリ
https://tanckocanary.com/

大学卒業後、2008年米国ウエストバージニア州マーシャル大学へ留学。宮城県公立高校教員を経て2015年より株式会社楽天野球団の通訳として活躍。楽天時代に利府町に移住し、2021年9月に一般社団法人タンコーカナリを設立。ロングトレイルから始める街づくりの提案とともに、子どもが楽しめるスポーツ教室の運営に取り組む。

【利府トレイル】ZINE Vol.2・グロウスリング

※八田優彩さん、松原一陽さんが制作を担当

左からみちのくトレイルクラブ・アドバイザー丹生茂義(にゅうしげよし)さん、石井宏之さん、宮城大学・事業構想学群地域創生学類4年松原一陽(まつばらかずあき)さん、同じく4年八田優彩(はったゆうあ)さん

※みちのく潮風トレイル：東日本大震災からの復興を契機に、環境省を中心とする関係自治体、民間団体、地域住民などの協働により設定された青森県八戸市から福島県相馬市までの4県28市町村をつなぐ「歩いて旅を楽しむための道」。美しい自然や景観はもちろんのこと、地域に暮らす人々とこの地を訪れる人々との交流、自然の恵みと震災の記憶、自然との共生の中で育まれた暮らしや歴史を大切にすることを理念としている。

利府町公式インスタグラム

みやぎ利府歩き

利府町公式インスタグラム「みやぎ利府歩き」では、皆さまからの利府町に関連する投稿を募集しています。
公式アカウントをフォローの上、「#利府歩き」「#りふあるき」を付けて投稿してくださいね。

rifu_town

投稿者：_hitomi_0414_さん

モリリン加瀬沼公園の満開の桜を投稿いただきました。青空・桜・草木の色がとても色鮮やかです。

投稿者：h0ssy777さん

利府町内から見える夜の三陸道と仙台の街並みを撮影した写真。車のライトの光跡がとても幻想的に見えます。

広報りふ RIFU　令和4年5月号　No.562
編集発行/利府町企画部秘書政策課　秘書広報係
〒981-0112　宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
☎022-767-2112　FAX022-767-2101　✉hisyo406@rifu-cho.com

編集後記

4月の人事異動により、新たに広報担当となりました。取材や編集をとおして利府町の魅力を見つめ直しています。私たちのまちの様々な「良いところ・自慢できるところ」を皆さんに発信していけるよう頑張っていきます。

広報りふWEB版